
平成30年度予算第二特別委員会質問要旨

○ 局別審査

平成30年3月13日

質問者（質問順）

- 1 長谷川 琢 磨 委 員 (自 民 党)
- 2 高 橋 徳 美 委 員 (自 民 党)
- 3 木 原 幹 雄 委 員 (民 進 党)
- 4 斎 藤 真 二 委 員 (公 明 党)
- 5 北 谷 ま り 委 員 (共 産 党)

局 別 審 査

1 長谷川 琢 磨 委員（自民党）

1 30年度予算編成と今後の財政運営について

(1) 30年度予算編成を振り返っての所感について伺いたい。

(2) 市税収入の確保について

ア 税源移譲を除いた個人市民税の3か年の推移を伺いたい。

イ 個人市民税が増収傾向となっている要因について伺いたい。

ウ 法人市民税の3か年の推移を伺いたい。

エ 法人市民税の確保に向けた取り組みの方向性について伺いたい。

(3) 今後の市債活用の考え方について

ア 市債についての基本的な認識について伺いたい。

イ これまでの財政運営で「横浜方式のプライマリーバランス」をどのように活用してきたのかについて伺いたい。

ウ 新たな中期計画で「横浜方式のプライマリーバランスの均衡確保」を財政目標に位置付けることを検討している理由について伺いたい。

エ 市債を5,900億円程度活用した場合の一般会計市債残高の33年度末見込みと29年度末見込みの比較を伺いたい。

オ 33年度末見込みが29年度末見込みより増える理由について伺いたい。

(要望) 将来世代に過度な負担を先送りしないよう、「横浜方式のプライマリーバランス」の均衡確保にしっかりと取り組んでいただきたい。

カ 新たな中期計画期間の後半についても必要な施設整備が推進できるのか伺いたい。

(要望) 市債を計画的に活用し、財政の健全性を維持しながらも、必要な投資は着実に進めていただきたい。

キ 「施策の推進」と「財政の健全性の維持」の両立に向けた決意について副市長に伺いたい。

2 債権管理の適正化の推進について

- (1) 現行中期4か年計画における未収債権額の縮減状況を伺いたい。
- (2) 未収債権額の縮減に向けたこれまでの取組について伺いたい。
- (3) 未収債権の整理・回収における課題について伺いたい。
- (4) 未収債権額の縮減に向けた今後の取組について副市長に伺いたい。

3 公共建築物の再編整備の取組について

- (1) 取り組む理由について伺いたい。
 - (2) 市営住宅における多目的化・複合化のイメージについて伺いたい。
 - (3) 建替校3校の多目的化・複合化の検討状況について伺いたい。
 - (4) 取組を進める上で重要と考える点について伺いたい。
 - (5) 再編整備の総合調整を担う財政局の執行体制を強化する必要があると考えるが、副市長の見解を伺いたい。
- (要望) 再編整備の取組について、事例を重ね、オール横浜で取り組んでいただきたい。

2 高橋徳美委員（自民党）

1 ICTを活用した財務事務効率化の取組について

- (1) 取り組む理由について伺いたい。
- (2) 財務事務の現状と課題について伺いたい。
- (3) 課題への取組の視点について伺いたい。
- (4) 今後の取組の方向性について伺いたい。
- (要望) 既存の事務等の調査・検討に基づいた働き方改革の効果を、しっかりと市民に還元していただきたい。

2 地方税の「共通電子納税システム」について

- (1) 電子申告の利用状況を伺いたい。
- (2) 電子納税の利用状況を伺いたい。
- (3) 電子納税の利用が少ない原因について伺いたい。
- (4) 共通電子納税システムの導入によるメリットについて伺いたい。
- (5) 導入に伴う対応について伺いたい。

3 保有資産の有効活用について

- (1) 基本的な考え方について伺いたい。
- (2) 「事業提案型公募による売却等の資産活用」等の実績を伺いたい。
- (3) 固定資産の中の土地情報の公表に向けた取組について伺いたい。
- (4) 今後の取組について伺いたい。

4 建設業の週休2日制確保・社会保険加入促進への取組について

- (1) 週休2日制確保モデル工事のこれまでの取組内容について伺いたい。
- (2) 週休2日制確保の取組の今後の進め方について伺いたい。
- (3) 社会保険加入促進に向けた、これまでの取組内容について伺いたい。
- (4) 社会保険加入促進の対象を二次以下の下請業者に拡大する必要性について伺

いたい。

(5) 今後の社会保険加入促進対策の内容について伺いたい。

(6) 担い手の確保に向けた今後の進め方について副市長に伺いたい。

(要望) 若年層などの担い手を確保し、市内の建設業がさらに発展していくよう、工期をしっかりと確保した上での週休2日制確保や、社会保険加入促進対策などの取組を進めていただきたい。

3 木原幹雄委員（民進党）

1 財政運営について

- (1) 現行中期計画期間を振り返り、これまでの財政運営に対する所感について伺いたい。
- (2) 特別会計・企業会計の借入金や外郭団体債務についての一般会計負担の考え方について伺いたい。
- (3) 現行中期計画期間における特別会計・企業会計の借入金や外郭団体債務へ一般会計が対応してきた実績について伺いたい。
- (4) 新たな中期計画における外郭団体債務への対応の方向性について伺いたい。
- (5) 新たな中期計画における特別会計・企業会計の借入金への対応の方向性について伺いたい。
- (6) 新たな中期計画で検討している財政運営の考え方について副市長に伺いたい。

2 市債発行について

- (1) 県費負担教職員の本市移管が実質公債費比率に与える影響について伺いたい。
- (2) 市債発行額を300億円増加させた場合の実質公債費比率への影響について伺いたい。
- (3) 30年度のミニ公募債の発行予定について伺いたい。
- (4) 30年度の市債発行総額及び主な借入先について伺いたい。
- (5) 市場公募債が売れ残るリスクについて伺いたい。
- (6) 30年度の市場公募債における年限ごとの発行計画について伺いたい。
- (7) 直近3か年の全国及び本市市場公募定時償還債の発行額推移について伺いたい。
- (8) 定時償還債を発行するメリットについて伺いたい。
- (9) 市場公募債の発行において重視する考え方について伺いたい。

3 固定資産税における土地評価替えについて

- (1) 最近の本市の地価動向について伺いたい。
- (2) 土地評価替えの状況及び税込への影響について伺いたい。
- (3) 相続登記がされないことに関する課題について伺いたい。
- (4) 市内における相続登記の状況について伺いたい。
- (5) 相続登記が進まない土地に対する取組について伺いたい。

4 工事発注における市内中小企業の振興について

- (1) 過去3年間の工事発注件数及び契約金額とその割合を伺いたい。
- (2) これまでの受注機会増大に向けた取組について伺いたい。
- (3) 本市発注工事の下請として、市内中小企業を活用する取組について伺いたい。
- (4) 総合評価落札方式の評価項目「市内経済への貢献」の実施状況、入札参加者の加点状況について伺いたい。
- (5) 評価項目「市内経済への貢献」を適用する工事を今後増やしていくべきと考えるが、見解を伺いたい。
- (要望) 元請だけでなく、下請についても市内企業が工事に参画する機会が増えるよう、取組を進めていただきたい。
- (6) 国等が発注する工事への市内中小企業の受注機会拡大に向けた取組について伺いたい。

5 ふるさと納税制度について

- (1) 横浜サポーターズ寄附金の市外・市内別の28年度寄附実績について伺いたい。
- (2) 市外への周知の考え方について伺いたい。

4 齋藤真二委員（公明党）

1 プライマリーバランスと今後の財政運営について

- (1) 主な政令指定都市では、プライマリーバランスを財政目標として位置付けているのか伺いたい。
 - (2) これからの市債活用の考え方の方向性について
 - ア 横浜方式のプライマリーバランス均衡確保の意味を伺いたい。
 - イ 新たな中期計画期間の前半・後半でプライマリーバランスを変動させる考え方について伺いたい。
 - (3) 健全化判断比率について
 - ア 28年度決算における実質公債費比率及び将来負担比率の数値と政令市中での順位を伺いたい。
 - イ 現在の健全化判断比率の状況に関する認識について伺いたい。
 - (4) 財政見通しについて
 - ア 31年度の財政見通しを「機械的な試算」として公表した考え方について伺いたい。
 - イ 新たな中期計画期間中の財政見通しに加え、10年程度の財政見通しが必要と考えるが、見解を伺いたい。
 - ウ 健全化判断比率についても10年程度の試算値が必要と考えるが、見解を伺いたい。
 - (5) 新たな中期計画の策定を見据えた今後の財政運営に対する考えについて副市長に伺いたい。
- (要望) 横浜方式のプライマリーバランスの考え方を踏まえた計画的な市債活用を図りながら、持続可能な財政運営を行っていただきたい。

2 財務書類による財政情報の「見える化」について

- (1) 28年度決算財務書類の作成・公表の取組について伺いたい。
- (2) 政令指定都市の28年度決算財務書類の公表状況について伺いたい。

- (3) 旧5大市間で財務書類を比較検証し、財政状況の見える化を進めるべきと考えるが、見解を伺いたい。
- (4) 29年度決算財務書類の公表に向けた考え方について伺いたい。

3 ICTを活用した税務事務効率化の取組について

- (1) 国における地方税のICT化に係る取組状況について伺いたい。
- (2) 現行の税務システムが構築された経緯について伺いたい。
- (3) 最近の税務システムの改修状況について伺いたい。
- (4) 現行の税務事務やシステムの課題について伺いたい。
- (5) 今後の取組の方向性について伺いたい。

4 ふるさと納税制度について

- (1) 本市の取組について伺いたい。
- (2) 本市の返礼品に対する考え方について伺いたい。
- (3) 寄附メニューを周知し、寄附対象事業の成果を示していくべきと考えるが、見解を伺いたい。

5 公民連携による保有土地の有効活用について

- (1) 一定規模以上の保有土地の有効活用に向けた基本的な考え方について伺いたい。
 - (2) 最近の公民連携による保有土地活用の具体的な実績について伺いたい。
 - (3) 地域の課題解決に向けた、公民連携による保有土地の有効活用の進め方について伺いたい。
- (要望) 単に民間に売却するだけでなく、地域の意見も丁寧に取り入れながら、保有資産の有効活用に取り組んでいただきたい。

5 北谷まり 委員（共産党）

1 30年度予算案の全体評価について

- (1) 厳しい環境にいる子供たちを減らす・なくすということを考えたのかについて伺いたい。
- (2) 自治体の第一の使命である、住民の安全、健康、生活、福祉を守るという立場に立った予算編成になっていないと考えるが、見解を伺いたい。
- (3) 施設等整備費で一般財源が増額した主な事業とその金額について伺いたい。
- (4) 施設等整備費に偏った、バランスを欠いた予算案と考えるが、見解を伺いたい。
- (5) なぜバランスが取れているといえるのか、見解を伺いたい。
- (6) 国民健康保険料の値上げなど市民の暮らしを守るべき事業にしわ寄せが来ていると考えるが、見解を伺いたい。
- (7) 「所得格差の縮小が経済成長となる」という視点は予算案に盛り込まれているのかについて伺いたい。
- (8) 格差是正のための予算を大幅に増額すべきと考えるが、見解を伺いたい。

2 市税の滞納整理と納税困難者への対応について

- (1) 市税の滞納額を伺いたい。
- (2) 滞納整理の手順を伺いたい。
- (3) 税の軽減措置や相談窓口に関する案内方法について伺いたい。
- (4) 「個人住民税の納税が困難な方へ」のチラシでも家計相談等の案内を記載するとともに、発送物への同封を行うべきと考えるが、見解を伺いたい。
- (5) 生活困窮者自立支援法に関するパンフレット「一緒に解決の道をさがしましょう」の区税務課窓口での配架状況について伺いたい。
- (要望) 生活困窮者自立支援法に関するパンフレットの区税務課窓口での配架を徹底していただきたい。
- (6) 「税の知識」の発行部数について伺いたい。また、税の軽減措置や相談窓口の

周知・広報を充実させるべきと考えるが、見解を伺いたい。

(要望) 滞納の初期段階での対応が重要なので丁寧にやっていただきたい。

(7) 生活困窮者相談窓口が十分に機能していないとも聞いているが、現状に対する認識について伺いたい。

(8) 税務職員が納税困難者に適切に対応するための研修実施状況について伺いたい。

(9) 国税徴収法に定める差押禁止財産の内容について伺いたい。

(10) 給与以外の債権の差押えにおいても最低生活費は保障されるべきと考えるが、見解を伺いたい。

(要望) 差押えによって生活が破たんしないようにしていただきたい。

(11) 差押件数と滞納処分の執行停止件数について伺いたい。

(12) 滞納処分の執行停止の内容及び適用する事例について伺いたい。

(13) 差押件数が増加していることについての見解を伺いたい。

(14) 滞納から生活困窮者を見つけて支援につなげるというマインドを持って丁寧に対応できるよう、人員を増やすなど、体制を構築すべきと考えるが、見解を伺いたい。

(15) 人口1,000人あたりの職員数が政令市で2番目に少ないことが市民に我慢を強いることになっていると考えるが、見解を伺いたい。

(要望) 市民に我慢を強いることなく、市民の暮らしに正面から向き合っていただきたい。